

一般社団法人 高知県作業療法士会ニュース

130号
発行2017.2.15



発行所：一般社団法人
高知県作業療法士会 広報部
事務局：〒780-0870
高知県高知市本町5丁目6-48
本町深田ビル 5階 南号室
<http://kochiot.com>

発行 平松 真奈美
編集 森 祐輔

第27回四国作業療法学会を開催して

第27回四国作業療法学会 会長 中島 美和 (近森リハビリテーション病院)

第27回四国作業療法学会は、去る平成28年11月26日(土)・27日(日)の両日、のいちふれあいセンター(香南市野市町)をお借りして、のべ520名を超える参加者のもと開催されました。

学会は「明日へ紡ぐ『作業』〜くらす ここで すこやかに〜」をテーマとし、対象となる方々が住み慣れた地域で、自分らしい生活を紡いでいくために、作業療法士に必要とされる役割や実践のあり方を見つめなおす学会となりました。



基調講演「地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割」では、生活行為向上マネジメントの創設にご尽力された土井勝幸氏(一般社団法人日本作業療法士協会副会長)にお話をいただき、作業療法の本質を追求する手段である生活行為向上マネジメントの実践が、地域包括ケアの貢献につながると力強く述べられました。また、シンポジウムでは「住み慣れた街でいきいきと暮らすために」をテーマに、当事者、ご家族、支援者の方々から生きていくことの苦悩、様々な工夫をお話していただきました。シンポジストの方々からのメッセージは、作業療法士一人一人の心に沁みわたる、たくさんの元気と課題を持ち帰ることができたと思います。また各分野でご活躍されている講師を招いた6セミナーは、知識技術の向上につながるエッセンスとなり、視点の広がりを実感できる内容でした。一般演題は43演題の発表があり、厳正な採点により学会優秀賞5名が選ばれました。高知会館での懇親会は、4県対抗のアームレスリングやじゃんけん大会、旬のエンターテイメントなど笑いっぱい

の交流会となりました。

約1年前から企画や準備を開始し、会場や講師の選定、事前登録システムやスケジュールの組み方など難渋する中、実行委員長吉本雅生氏を中心に手作りの学会となりました。学会当日の進行や会場設定では反省や課題も残りましたが、駐車場や受付係などのべ100名近い運営委員にご協力いただき、2日間の学会を無事に終えることができました。最後になりますが、講師や座長を快くお引き受けいただいた皆様、また後援や学会誌広告等、関連団体の皆様には多大なご協力をいただき、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



お知らせ

平成29年度
一般社団法人 高知県作業療法士会 第8回総会
期日：平成29年5月20日(土)
会場：高知県立ふくし交流プラザ

高知県作業療法士会

検索

一般社団法人 高知県作業療法士会
会員数 700名(平成29年1月末現在)

中央地区学習会「認知症について」を終えて

学術部長 岡田 祐一 (近森リハビリテーション病院)

今回は、菜の花診療所の作業療法士 白木幸子氏を講師に「認知症について～病態・症状の理解～」をテーマに学習会を開催しました。認知症については関心の高い内容でもあり、多数の方に参加いただくことができました。

現在、高齢者の4人に1人は認知症または予備軍といわれており、厚生労働省は10年後の2025年には、認知症患者が約700万人(約5人に1人)まで増加するとの推計を発表しています。新オレンジプランではこうした背景をもとに、「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す」を基本的考えに、早期診断から早期対応を行うこととし、われわれ作業療法士は認知症初期集中支援チームでの活躍が期待されています。

今回の学習会では、認知症の病態についてそれぞれの症状や特徴、認知症の方に使われている内服薬について詳しく説明していただきました。周辺症状(BPSD)についても疾患・障害に応じた対応が必要であることを学びました。また、白木氏が認知症初期集中支援チームで関わった症例についても紹介され、その中での作業療法士の働きについて教えていただきました。質疑応答でも多くの質問があり、参加者の方の関心の高さがうかがえる勉強会となりました。認知症患者に対して作業療法士として対応ができるように、今後も知識を深める必要があると感じました。



『やりゅうぞね作業療法2017』を開催して

事業部担当理事 武市 啓志 (梅ノ辻クリニック)

一般社団法人日本作業療法士協会の設立50周年を記念して、平成29年1月9日(月・祝)にイオンモール高知で『やりゅうぞね作業療法2017』を開催しました。昨年から募集を行い、29施設からのべ48名の士会員の方から写真やアート作品、作業療法場面の説明パネルなどを出展していただきました。またイベント当日は事業部員をはじめ40名を超える士会員の方にご協力をいただきました。このイベントにご協力いただいた施設、士会員、利用者様や患者様とご家族の皆様には心より御礼を申し上げます。

イベントでは作品などの展示やスタンプラリー、ゲームとしてストラックアウトなどの企画も行いました。また、高知家キャラクターの着ぐるみと今話題のピコ太郎のダンスや写真撮影などを行い、2階からも会場を覗いてくださる方も多く、来場者も1200人を超える盛況な結果となりました。

今回のイベントは各施設で行われているそれぞれの作業療法について、方法だけではなくその作業を行う目的や目標などを知っていただくことをテーマに行いました。作品の展示に併せて作業を行った対象者の背景や作業療法の目的、作業を行った感想などを展示し、来場された方に説明を行いました。その結果、来場された方の感想としても「OTについて知ることができた」「OTとPTの違いについて知ることができた」など良い意見を多く聞くことができました。運営側のスタッフからも、他の施設や分野の作業療法を改めて知る機会となり、明日からの仕事にも活かしていきたいとの意見も聞かれました。



第15回高知県作業療法学会 開催のご案内

高知県作業療法学会 実行委員長 光永 哲 (近森リハビリテーション病院)

第15回高知県作業療法学会の開催につきまして、平素よりご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本学会は、平成29年5月20日(土)・21日(日)の2日間、高知県立ふくし交流プラザにて開催いたします。学会テーマは、「知って、活かそう、地域包括ケアシステム」とし、昨年開催されました四国作業療法学会とテーマの軸を同じくしております。学会企画では、基調講演に一般社団法人日本作業療法士協会理事、公益社団法人大分県作業療法協会副会長である佐藤孝臣氏(株式会社 ライフリー)をお招きし、地域包括ケアシステムの中でいま作業療法士に求められていること、できることを会員の皆さんと共有し、考える場にしたいと考えております。その他にも、各分野における具体例の発表を企画した指定演題や一般演題(口述・ポスター)での発表も予定しており、発表者との意見交換ができる場を多く設けています。

また本学会におきましては、一般社団法人高知県作業療法士会の総会と日を同じくして開催いたします。日程・スケジュールなど前年度までと異なるところが多く、進行などご迷惑をおかけすることもあるかと思われまます。県学会実行委員・学会評議員一丸となってすすめておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

年度始まりの大変お忙しい中とは存じますが、士会員の皆様でお声合わせの上、多くのご参加をお待ちしております。

第15回 高知県作業療法学会 日程予定 5/20(土)

10:00~	総会受付
10:30~	総会
12:00~	学会受付
13:00~	開会式
13:10~	一般演題 口述発表I
	一般演題 口述発表II
	一般演題 口述発表III
15:40~	ポスター発表 A
16:50 終了予定	ポスター発表 B

5/21(日)

9:00~	受付
9:20~	基調講演
11:30~	指定演題
12:40~	閉会式
13:00 終了予定	

バリアフリーなお店 ~伊酒屋 りぐる~

広報部員 山本 浩明 (高知整形・脳外科病院)



皆様元気でお過ごしでしょうか?今回、伊酒屋りぐるというお店を紹介致します。とさでん交通「はりまや橋」電停より徒歩3分、はりまや橋商店街東詰から北へ1つ目の交差点角に位置します。白い建物が目印です。お店入口はスロープがあり、開き戸を開けて入店すると車椅子で店内テーブルまで移動可能です。1階室内は座敷空間を除いて、バリアフリーとなっており、車椅子での移動及び転回が可能です。トイレは障害者用トイレではなく、やや狭いですが、介助者がいれば車椅子でのトイレの利用も可能です。



この日は旬の食材を使ったコース料理を堪能しました。全体的には和の旬の食材を使用したメニューが中心です。カツオの塩たたき、岩がきが美味しかったですが、個人的にはタコといわしの燻製が一番美味しかったですね。燻製といえば「りぐる」と言われるぐらい店の看板メニューで、食材に合わせて塩分濃度を変えた塩水に浸し、冷蔵庫で乾かして燻製にしているというこだわりようです。甘味と塩味の加減と香りのハーモニーが絶妙で、1回食べたならこれだけでも食べに行きたくなるような気持ちになります。また



伊酒屋 りぐる ☎088-821-9018

住所: 高知市はりまや町1-8-10

営業時間: 17時~23時

定休日: 月曜日

コース料理以外にも、アヒージョや、和牛のグリルなどおススメメニューが多くあります。土佐弁でりぐるとは「思いを込める、こだわる」という意味が示すように、皆様も機会があれば是非、伊酒屋りぐるにて、おいしいりぐるた食事と雰囲気を楽しんでみてください。